

交換商品詳細



名 寄

地域通貨へポイント交換

北海道電力と連携

名寄商工会議所（北海道）と北海道電力は11月22日、同所が運営する地域電子通貨「Yorooca（ヨロカ）」と同社のポイントサービス「エネモポイント」を連携すると発表した。北海道電力が運営するウェブサービス「ほくでんエネモール」から申し込むことで、ためたエネモポイントを1口300ポイント単位でYoroocaに交換して使えるようになった。

「ほくでんエネモール」の「Yorooca」へのポイント交換ページ

同事業はYoroocaの運用開始1周年を記念したもの。北海道電力の「地域のみなと」に共創する価値を高める。今回の連携に至った。

Yoroocaは2023年11月に、地域のDX推進事業の一つとして同所が運用を開始した地域電子通貨。名寄市民だけでなく、誰でもカードを取得できる。240店舗以上が加盟し、カード発行枚数は1万6000枚を超えている（うち、約1万人がスマートフォンアプリにも登録）。利用額は約3億円に上り、ポイント利用額も約1億4000万ポイントに達している。

一方のエネモポイントは、北海道電力の利用者が電気の利用状況などを確認できるウェブサービス「ほくでんエネモール」で使えるポイントで、コンビニや家具店、ドラッグストアなどともポイント連携の実績がある。今回の連携により、Yoroocaが地域でより利用される通貨となることが期待されている。

同所の藤田健慈会頭は「Yoroocaについては地域の協力で徐々に成長しているが、世の中に多くのポイントサービスがある中、どう育てていくかが課題。今回のポイント連携を市民に広く理解してもらい、使い勝手の良いポイントとして育てたい。今回の連携は北海道電力の深い理解と支援によるもので、期待に添えるよう取り組みたい」と話した。